

安心安全の町づくりへさらに! 耐震化事業進む

鳩山町中央公民館

第4回定例会

平成24年第4回定例会が、11月30日から12月11日まで開催されました。提出議案は、条例の制定に関するもの1件、条例の一部改正に関するもの3件、総合事務組合の規約変更に関するもの1件、指定管理者の指定に関するもの1件、平成24年度一般会計並びに特別会計補正予算等に関するもの4件、町道の廃止・認定に関するもの2件の合計12議案で、全議案とも可決されました。

指定管理者決定

鳩山町ふれあいセンター及び鳩山町梅沢集会所の指定管理者が㈱セイウに決定。

《主な質疑》

問 現在の指定管理者とどこが違うのか。

答 高齢者のサービス事業で、健康相談や介護予防教室など、新たな自主事業を積極的に取り組んでいく予定がある。

問 自主事業について契約書に明記されるか。

答 具体的には明記されていないが、積極的に行うという点で協定書に定める。

問 現在働いている職員は解雇か。

答 再雇用を考えている。雇用を行うときは、町民から雇用する。

問 指定管理者（セイウ）の町外の現場を視察したことがあるか。

答 お話は伺っているが、現地に行ってみてはいない。

問 指定管理者制度の運営の問題として、どういう基準を重視しているか。

答 住民サービスを効果的、効率的に提供するため、サービスの提供者を民間事業者等から幅広く求めることに意義がある。

問 平成23年度今宿コミュニティセンターとふれあいセンターの収支決算は。

答 支出はコミュニティセンターの人員費45万6千円、光熱水費217万6千円、その他。ふれあいセンターの支出は、人件費672万5千円、その他光熱水費も含めて管理経費368万2千円。収入は、コミュニ

ティセンターの指定管理料680万円、利用料金収入が169万円。ふれあいセンター利用料金収入が450万円、管理代行料575万円。

《反対討論》

管理者選定基準の中で、重要項目である自主事業について、具体的な内容を取り決めていない。相手が言葉だけで自主事業をしっかりとすると断言しても担保がない。協定書に自主事業を明文化できないなら反対する。(稲垣)

※指定管理者制度とは

地方自治体が設置する公の施設の管理運営を民間の企業やNPOなどの団体に広く委託する制度。住民サービスの向上と経費の節減を図ることを目的とする。

一般会計補正予算

起債補正額7億3160万円と非常に多いが、後年度の財政負担は。

起債額は庁舎耐震化等事業1億4459万2千円。防災行政無線デジタル化事業が1億1909万6千円。鳩山小プール改築事業2149万4千円、中央公民館耐震化等事業が7551万6千円。合計で3億6069万8千円の後年度自主財源の負担となる。

※自主財源とは、住民税、地方交付税などの財源です。

《中央公民館耐震化等》

トイレの配管調査は必要と思うが。

金額的に無理なので、表面的なりリニューアルを行う状況。

公民館屋上などに吹き付けてあるアスベストの安全対策は。今回の大規模改修で完全に撤去する。

《役場庁舎耐震化等》

現在トイレの故障が多いが措置は。

男子、女子ともにトイレの便座・便器の更新を含む全面更新をして、入口もバリアフリー対応にする。また工事中は、屋外に簡易トイレを設置して対応する。

傍聴席のバリアフリー化はできないか。今回は出来ないが、これからも引き続き検討していく。

《鳩山小学校プール改築》

使用予定のステンレス製プールと鉄筋コンクリート製プールの違いは。

金額的には同じだが、安全面においてステンレス材はねじれ、曲げ等にすぐれ、表面が滑らかなため清掃も容易。

災害時にプールの水が飲料水になるが、衛生面はどうか。通常のろ過機とは別に活性炭等を使用した災害時の浄水器を設置し

て飲料水にする。

《防災行政無線デジタル化》

新しい防災行政無線はどんなところが変わるか

全国瞬時警報システム（Jアラート）に対応する。避難所である小中学校などの公共施設、病院、高齢者・身体の不自由な方の施設等に個別受信機を設置する。また放送内容を電話で確認できる電話応答システムなどさまざまな手段により、非常時の緊急情報伝達に威力を発揮し、安全で安心して暮らせるまちづくりに寄与する。

デジタル化すると聞こえ方は良くなるか。音声による放送音から合成音になり、安定した音声になる。また、スピーカーについても設置の向きを考え、2種類を組み合わせて広域性を持たせ、音響の範囲も長くとどかせるように調整を改める。

鳩山町暴力団排除条例の制定

県内からの暴力団排除を徹底するためには、住民の安全で平穏な生活の確保等の責務を有する市町村において暴力団排除のための施策を積極的に推進する意思を明確に示す必要がある。

町職員には暴力団対処要綱や規程、マニュアルなどがあるのか。鳩山町建設工事等暴力団排除措置要綱がある。

今まで町が把握している暴力団によると見られる被害はあったか。ここ数年は確認されていない。

補正予算に盛り込まれている耐震補強大規模改修・防災関係工事

＜中央公民館耐震化等＞

総額 1億660万円

監理業務 260万円
耐震化工事 3,360万円
大規模改修工事 7,040万円
屋上防水、内装・外壁塗装、アスベスト除去工事、トイレ改修、空調設備工事など

＜役場庁舎耐震化等＞

総額 2億630万円

監理業務 630万円
耐震化工事 5,800万円
大規模改修工事 1億4,200万円
・トイレ改修 ・内装改修 ・屋上防水
・外壁改修 ・ホール照明LED化 など

＜鳩山小学校プール改築＞

総額 1億4,365万円

監理業務 265万円
プール本体・付属施設改築給水設備工事（緊急時用浄水機）1億4,100万円
「東日本大震災復興特別会計」から補助金が出ています。

＜防災行政無線デジタル化＞

総額 3億8,448万円

監理業務 798万円
親局設備 5,450万円
屋外拡声子局 1億7,610万円
（更新34局、増設6局、1箇所440万円）
移動局設備 4,070万円
（指定避難所用11台、庁用車用15台、消防団車両用7台）など

※いずれの事業も「緊急防災・減災事業債」を利用し、後年度の起債償還財源について70%（鳩小プール改築工事については80%）が交付税に算入されます。